

「気候変動」で雨は今よりたくさん降る！？

■これからは、「気候変動」の影響によって、強い台風がやってくるようになり、大雨の降る回数が増え、洪水が発生する回数やその激しさが増すようになると言われています。

■ダムや堤防を整備するのにはとても多くの時間と費用がかかります。

では、どうしたら
よいのでしょうか・・・

解決のキーワードは
「流域治水」です。



「流域治水プロジェクト」を進めています

■相模川では「流域」に関わる全員で水災害対策を行っ
ていく **「流域治水」** の取組を進めています。

流域治水は、

河川管理者(国・都道府県・市区町村)だけでなく

あらゆる関係者

が主体となります。



相模川では

令和3年3月に流域の関係機関で協議会を設立し、

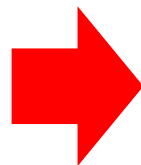
相模川水系流域治水プロジェクト を立ち上げました。



「流域治水対策」は3つの柱で進めます

1つ目の柱：氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

国や神奈川県の実施



堤防をかさ上げる工事

■ 必要な幅や高さが不足している堤防について、早期に整備を行い、洪水に対する安全性の向上を図ります。

整備イメージ（平塚市）



「流域治水対策」は3つの柱で進めます

1つ目の柱：氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

ダム管理者の取組



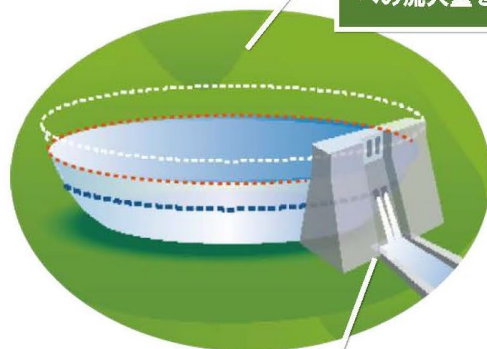
ダムの事前放流

- 大雨が予測されたとき、ダムの事前放流を行い、洪水時に貯められるダムの容量を増やします。

対策イメージ

大雨が予測された時

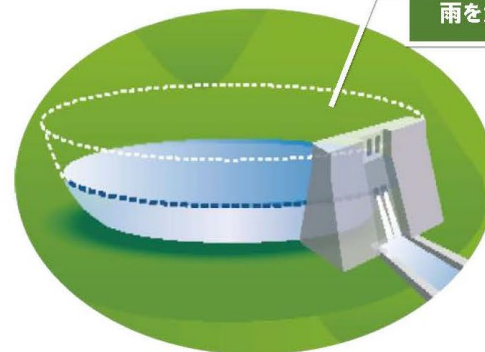
①雨の予測からダムへの流入量を予測



②事前に放流して容量をあけておく



③あいた部分に雨をため込む



「流域治水対策」は3つの柱で進めます

1つ目の柱：氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

山梨県の取組



森林整備・治山対策

■ 上流域において、森林整備や治山対策により森林の保水機能や山崩れを防止し、流域治水の関連施策として連携を図ります。



森林整備



治山対策

「流域治水対策」は3つの柱で進めます

1つ目の柱：氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

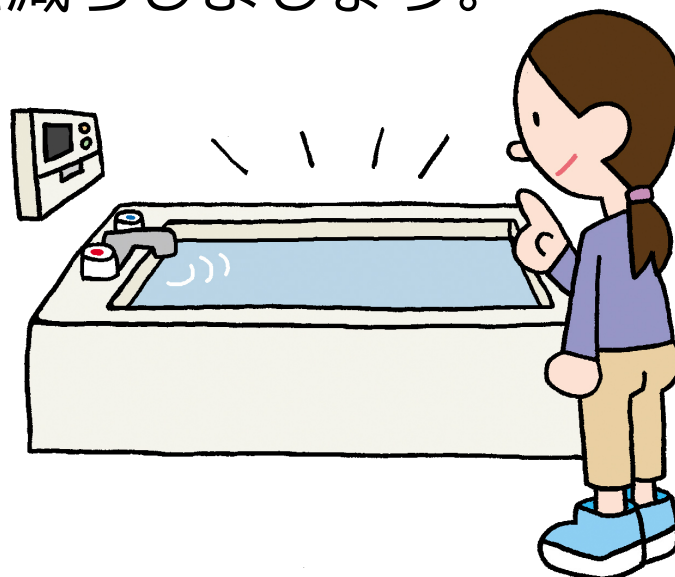
誰でも今すぐにできる取組



下水道への負担をへらす

■ 大雨のときは、使ったお風呂の水を流さない。

お風呂の水をためておける場合は、雨がやんでから排水し、
下水道に流す水の量を減らしましょう。



「流域治水対策」は3つの柱で進めます

2つ目の柱：被害対象を減少させるための対策

国の取組

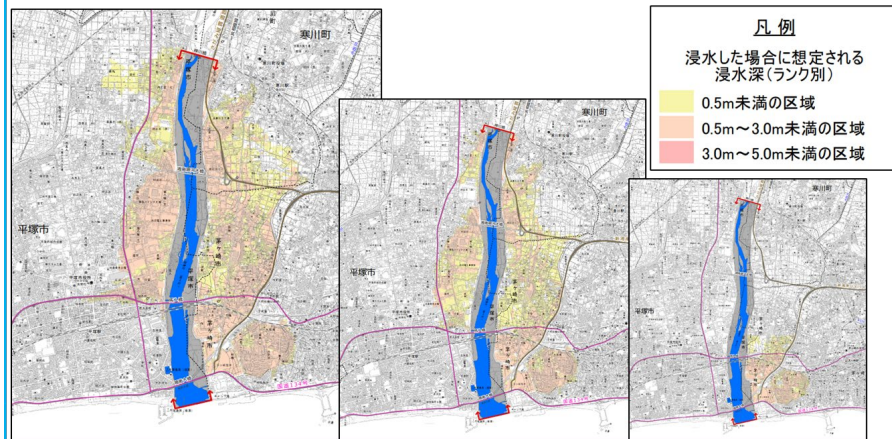
水害リスク情報の充実

- 発生頻度の高い雨による浸水範囲や浸水する頻度、
浸水する深さの関係をわかりやすく示した
図面を公表。

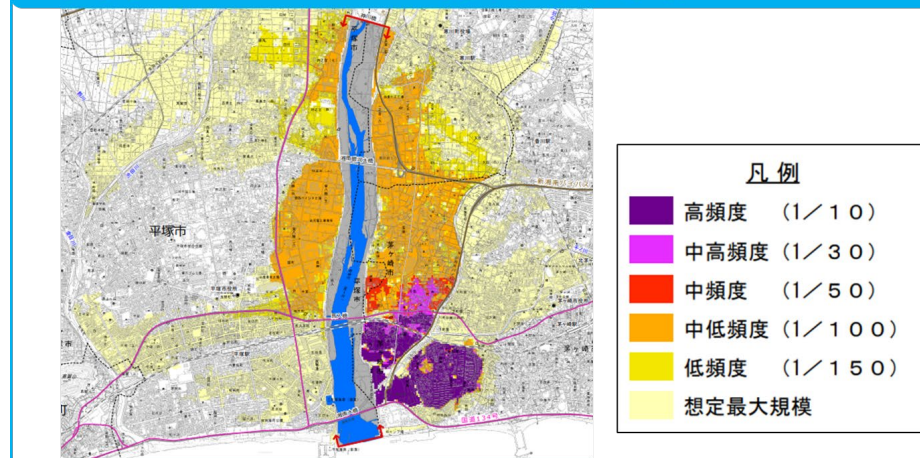


このQRコードから
確認できます

多段階の浸水想定図のイメージ



水害リスクマップ（浸水頻度図）のイメージ

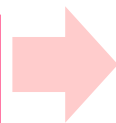


土地利用や住まい方の工夫、水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討などに活用できます。

「流域治水対策」は3つの柱で進めます

2つ目の柱：被害対象を減少させるための対策

誰でも今すぐにできる取組



側溝からの冠水をへらす

■ 台風がくる前に、側溝の掃除をしておく。

側溝に落ち葉やゴミがたまっていると、
排水ができなくて、道路などに水があふ
れることがあります。



「流域治水対策」は3つの柱で進めます

3つ目の柱：被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

平塚市の取組

内水ハザードマップの改訂・公表

■ 想定最大規模降雨による内水ハザードマップを作成し、令和4年6月に公表しています。



平塚市では、**6つのハザードマップ**を公表しています。
各種災害への備えとして、ぜひ活用してください。

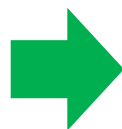
『内水』、『津波』、『洪水』、『土砂災害』、『ため池』、『高潮』に対するハザードマップを整備しています。



「流域治水対策」は3つの柱で進めます

3つ目の柱：被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

平塚市の取組



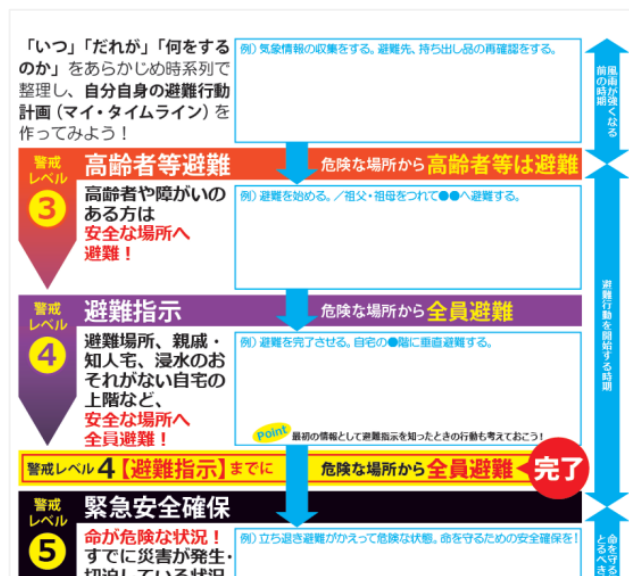
マイ・タイムラインの取組推進

■ マイ・タイムライン※についてHPで情報発信を行い、作成を支援しています。

■ 早速作ってみる方はこちらからアクセス →



■ マイ・タイムラインって何？という方にオススメ →



スマホのカメラで読み取って見てね

クイズで学ぼう！マイ・タイムライン
(国土交通省)



※マイ・タイムラインとは、災害時に自分自身がとる防災行動を時系列的に整理し、取りまとめる行動計画表です。

「流域治水対策」は3つの柱で進めます

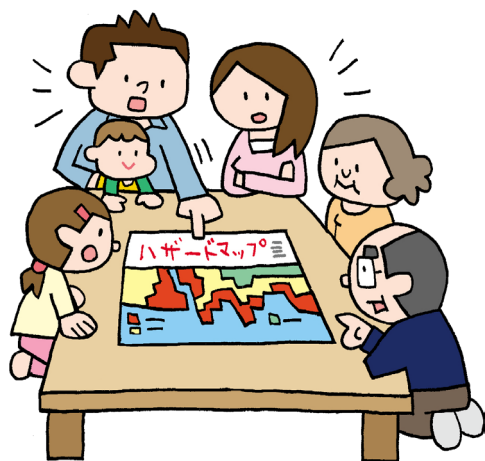
3つ目の柱：被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

誰でも今すぐにできる取組

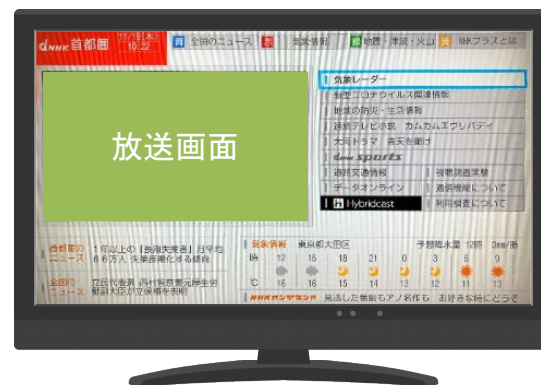
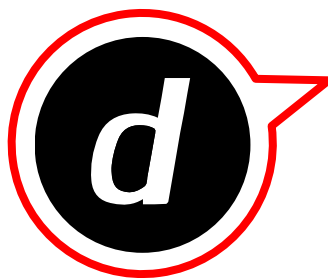


避難について準備する

- お住まいの地域のハザードマップを確認する。
- マイ・タイムラインをつくってみる。
- 川の水位やカメラ映像など必要な情報の取り方を確認する。



d ボタン





パネル展示をご覧頂きありがとうございました

- 「流域治水」について、もっと知りたくなった方、
わかりやすい動画もご用意している
のでぜひご覧下さい。



← 流域治水を動画でCheck！

- 自分にでもできる「**流域治水対策**」見つかりましたか？

みんなで一緒に
「流域治水」を進めていきましょう

担当部署

国土交通省関東地方整備局
京浜河川事務所 流域調整課

